

12月11日(土) 「九州はひとつ」 生徒実働日

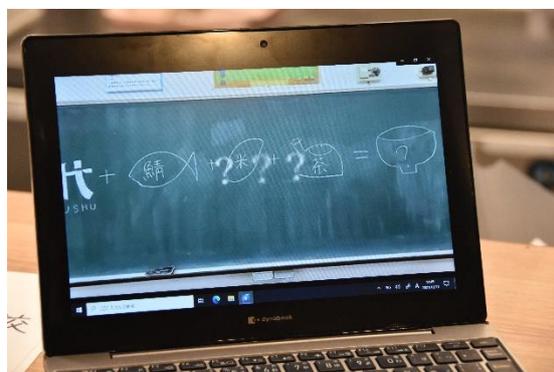
植木中学校の2年生は7月から12月の間、総合的な学習の時間で「九州はひとつプロジェクト」という活動を行いました。「九州はひとつ」というテーマで高速道路サービスエリアでの仕事について考えることで、横断的・総合的な学びから自己の生き方を考えさせることを目的としました。社会科の一環で、「九州はひとつ」をテーマとしたオリジナル丼のレシピを考案しました。生徒たちが考えた全16のレシピ案のうち、「九州鯖っちゃんお丼」が審査で選ばれ、古賀サービスエリア【下り線】にて商品化されました。

九州

KYUSHU



「九州鯖っちゃんお丼」が商品化される前に、生徒たちは学校でCMやチラシ、おしながきを作成しました。自分たちが作った丼を少しでも多くの人たちに食べてもらいたい思いがあったため、生徒それぞれがアイデアを出し、自主的な取り組みとなりました。



12月11日（土）に古賀サービスエリア【下り線】で2年生10名と、1年生4名が職場体験をしました。全員が「九州はひとつ」のはっぴを着ることで、意気が高まりました。職場体験で取り組んだことについて報告します。



- ① 調理補助…「九州鯖っちゃんお丼」の調理を体験しました。正確に材料を計量したり、配膳をするなど食べてくれる人のことを考えて調理しました。



- ② 皿洗い…皿の形状により洗い方が異なることを学習しました。お客さんが多かったため、その分皿洗いが大変でした。



- ③ 呼び込み（店内）…お客さんがよく通る場所でチラシを提示しながら宣伝しました。
来た人全員にチラシを配る意気で頑張りました。



- ④ 下げ膳・テーブル拭き…食べ終わるとトレーを受け取ったり、テーブルの拭き上げをしました。多くの人から「ありがとう」と感謝の言葉をいただきました。



- ⑤ 呼び込み（店外）…店外で、チラシを掲示しながら飲食コーナーへの呼び込みを行いました。自分たちの作った丼をうまくアピールすることが大事だと勉強になりました。



- ⑥ 取材…1年生は、働いている2年生に「初めて仕事をした感想」や「今後の学校生活にどう生かせるか」をインタビューしました。また、「九州鯖っちゃんお丼」を食べてくれたお客さんに感想を聞くなど、多くの人に取材しました。空いた時間で積極的にチラシを配るなど、自主的に仕事に取り組みました。



「九州鯖っちゃんお丼」を食べてくれたお客さんの中に、植木中学校の先生の姿もありました。日ごろ学校生活でしか見ない生徒たちが仕事現場で熱心に働いている姿を見ることができました。また、生徒たちもいつもお世話になっている先生たちが来て、とても嬉しそうでした。

